



学校法人永原学園  
さんこう  
児童クラブ通信  
令和6年9月発行  
— 第6号 —

【三光幼稚園】  
TEL: 0952-31-0753  
【さんこう児童クラブ携帯】  
TEL: 090-7430-1312

### 避難訓練

7月、8月は西九大の先生方のご協力で様々な体験ができました。猛暑日の連続で大好きな外遊びが制限され、エネルギーを持て余した子ども達は課題があることで落ち着いた時間を過ごすことができました。一方、校外の体験学習として消防署見学も取り入れました。実際に地震の時の揺れを体験したり、消防署の方から火事や台風の際の話も聞くことができました。そんな時間を過ごした8月8日の夕方、宮崎県で起きた震度7の地震は、佐賀市でも震度4の揺れを起こしました。職員をはじめ子ども達と驚きながらも無事に机の下に潜り、落ち着いて行動ができました。8月27日は、火事の時の避難練習でした。出火場所によって逃げる道や方向が違ってきます。1～3年生24人全員が、先生の話をしっかり聞いて、初めて使う非常口経路も間違わずに目的地までたどり着くことができました。

もしもの時の備えに色々な体験を繰り返し行うことの意義を確認した今年の夏休みでした。

2学期が始まりました。夏休みの体験を通して、ひと回り大きく成長してほしいと思います。

### 9月の目標

#### 「自分の心と身体と相談しながらすごそう」

長い夏休み。熱中症指数の関係でなかなか戸外遊びができませんでした。クーラーの中で過ごす時間が長かった子どもたちですが、小学校が始まると、登下校や学校生活の中で外気に触れる時間が増えると思います。

児童クラブでは、自分の体調や気候等を考え、戸外遊びが実施できるときに戸外に遊びに行くかどうか、室内遊びをする際も、何の遊びをするか、自分の体調、気持ちを考えて、行動に移してほしいと思っています。

### 【楽しかった夏休み♪】

大学生・短大生のお兄さん・お姉さんや講師の先生、佐賀消防署の方々にお世話になり、貴重な経験をさせていただくことができました。これからの生活や遊び、小学校でも生かしてほしいと思っています★

保護者の皆様、様々なご協力、ありがとうございました。引き続き、2学期からも、温かく見守ってくださると嬉しいです。どうぞ、よろしくお願い致します。



遊びや体験から学んだこと、感じたことが自然と2学期からの子どもたちの姿に影響するのではないかと考えています。子どもたちの成長や変化に気づき、認める中で、子ども同士でも、友達のよいところを感じ、その気持ちを言葉や態度で表現しながら、交友関係の深まりに繋がってほしいと願っています(\*^▽^\*)

### 9月の学童児童数

	在籍者数	休所者数	利用者数	そのうち新規入所者数	7月末退所者数
1年生	5	1	4	0	0
2年生	12	0	12	0	0
3年生	12	1	11	0	0
計	29	2	27	0	0

## 寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学部の窓から

### 子どもの成長とストレングス

社会福祉学科・講師・土井幸治

私は、大学教員になる前までスクールソーシャルワーカーとして、学校現場で不登校、いじめ、非行、児童虐待、発達障害等の子どもに係る支援を行ってきました。子どもの抱える悩みを解決していくためには、子どもはもちろんですが、その周囲の大人たちがどのように関わるかということも重要です。難しい問題にぶつかったときには、子どもを含め、関係者で、子どものために出来ることを考えていきます。そのときによく話題になるのは、出来ないことを出来るようにしていきたいという考え方です。個人差はありますが、子どもは成長をしていく存在であり、周囲の大人はその応援者です。そのため、子どもに出来ないことがあると少しでも出来るように関わっていくという発想は当然です。このことは、子どもの成長にとって大切なことですが、ときに出来ないことにばかりに目が向いてしまい、ものごとが思うように進まず、子どもにあたってしまうことも少なくありません。そのようなときは、思いっきり視点を切り替えて、子どもの出来ていることに目を向けるようにしています。つまり、出来ていることをもっと伸ばすという発想です。これも子どもの発達・成長の大切な形です。

この出来ていることをもっと伸ばすときに必要な視点が、「ストレングス」です。ストレングスとは、強さ・長所・良いところなど訳されます。このストレングスとは、単に、勉強ができる、運動が得意などだけではありません。〇〇に関心がある、好きだ、将来〇〇になりたいと思っているなどの「思い」を持っていることもストレングスです。またお絵かきが上手、お話が上手などのあらゆる「能力」もそうです。そして、元気がいい、明るい、優しいなどの「性格」もそうです。いま紹介したストレングスは、その人自身の力ですが、家族、先生、お友だちなどの「社会関係」の有無も大切なストレングスと言われています。子どもにとっての大切な社会関係である私たちが、子どものストレングスに気づき、そのストレングスを活かした生き方を支援することは、子どもの大きな成長につながります。

子どもへの関りに対して、一つの視点を知ったからと言って、何でもうまくいくような簡単なものではないことは重々承知しておりますが、一つでも多くの視点をしておくことは、うまく行っていないときに切り替えるチャンネルの一つだと思います。子育てに奮闘される保護者さんたちのそのチャンネルの一つになればと思います。